

## 飛鳥資料館 春期特別展「文化財を撮る—写真が遺す歴史」

文化財を守り、伝えるうえで、文化財写真は重要な役割を担っています。奈良文化財研究所では、様々な文化財の調査研究にあたり、多くの写真を撮影し、学術情報として保存してきました。

今日では、文化財を撮影した写真そのものが、歴史資料として文化財の範疇に加わるようになりました。既に失われてしまった文化財や、地中に埋め戻された遺跡の様相、文化財の経年変化を記録した写真は、実物にも匹敵する資料といえます。いっぽうで、文化財の新たな魅力や、文化財への新たな視点を引きだす鑑賞用の写真も、文化財写真の技術者たちの腕の見せ所です。

また、近年の技術革新の波は、フィルムカメラからデジタルカメラへの急激な移行を迫っています。奈文研では、フィルムのデジタルアーカイブの作成等、写真資料の残し方の研究も進めています。

文化財の魅力を多くの人々、そして未来に伝える文化財写真。本展覧会では、文化財写真の歴史と技術の展示を通して、その価値と面白さをご紹介します。 (飛鳥資料館 西田 紀子)

会 期：4月26日(火)～7月3日(日) 月曜日休館、ただし5月2日(月)は開館

開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

講演会：5月28日(土) 14：00～ 「飛鳥の文化財を撮る眼(仮)」 講師：井上直夫 於：飛鳥資料館講堂(事前申込不要)

イベント：なりきりカメラマン—文化財写真技師の仕事体験 6月24日(金) 10：00～、13：30～、於：飛鳥資料館講堂

※イベントは事前申込制、申込方法等の詳細は飛鳥資料館ホームページ・チラシをご覧ください。

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問い合わせ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)



編集 「奈文研ニュース」編集委員会  
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp>  
Eメール [jimu@nabunken.go.jp](mailto:jimu@nabunken.go.jp)  
発行年月 2016年3月